

あさはらビジョンづくり ワークショップだより



浅原の未来を創る会を中心として、「誰もが安心して暮らし続けられる浅原」を実現させるためのビジョンづくりに浅原のみんなで取り組んでいます。7月に行われた第1回のワークショップに引き続き、10月16日に交流ホール（旧浅原小体育館）で開催された第2回は地域から約30人が参加され、『ビジョンを描こう！呼びかけてみよう！私たちがやりたい姿はこんな姿だ』をテーマに、ビジョンの原石を作りました。

オープニング ～ 酒井理事長あいさつ・檜谷さんからの説明・あさみらショートコント ～

冒頭あいさつでは、酒井理事長から「アントニオ猪木さんの言葉に『元気があれば何でもできる！』という言葉がある。浅原というキャンパスに描いた夢を実現できれば、きっと、元気が出るすばらしい地域になる。」という内容のあいさつがあり、コーディネーターである檜谷邦茂（ひのきだにくにしげ）さんから、あらためて「ビジョン=こんな自分たち・地域でありたい、こんな価値観でいたい=理想がかかっているもの」という前回の振り返り、今回のゴールイメージについての説明がありました。一人一人の思いを言葉で表現するだけでなく「描く」のは初めてだったので、今回はあさみらの二宮副理事長、長尾事務局長、西本地域支援員によるショートコント風な説明もありました。



ビジョンの元になるイラストを描いてみるワーク&みんなでシェア

テーマ1：拠点づくり >> 呼びかけてみよう、やりたい姿：

①みんな顔見知りの浅原！

【描いた人の思い】

いつまでも仲良く住み続ける！

【みんなの声】

きれいな川を維持したい／交流会館にたくさん人がきてほしい／グラウンドの芝生化！そしてキャンプ／いろんな人と知り合いになりたい／賑やかな浅原の復活



②車に乗れなくても楽しく集えるように

【描いた人の思い】

普段来れない人も来れるように

【みんなの声】

楽しいことをする／市民センターに
来れない人も来れる仕組み／移動支援（予約代行オペレーター付）／音楽好きな人を施設に／コミュニティ軽トラでもモノも運ぶ／浅原は音楽好きが多いのでストリートピアノや大正琴を交流会館に置いて人を集める／産直市の量と種類を豊富に



テーマ2：農地・山林 >> 呼びかけてみよう、やりたい姿：みんなの来てもらえる浅原にしたい

【描いた人の思い】

休耕田をなくす、花を植える、循環社会を作る、

里山環境整備、地域の資源を活用する、ITを使って発信、魅力を伝える

【みんなの声】

休耕田で育てたほうれん草などを交流会館で販売／芋煮会やピザづくり体験会などで誘客につなげる／農機具レンタルやシェア／横山登山道の維持管理ができれば松茸やタケノコ、薪の収穫につながる／ドローン撮影してPR／IT活用／課題を魅力に／循環型社会の構築につなげる



発行 浅原の未来を創る会（協力）佐伯支所・浅原市民センター

次回（第3回） とき：令和5年1月22日（日）13：30～15：30 ところ：浅原市民センター

テーマ 「こうありたいに近づいてみる」

檜谷さんより ビジョンの原型づくり、一人一人試してみたいこと、できそうなことを確認していきましょう

テーマ3：防災・安心・安全 ≫ 呼びかけてみよう、ありがたい姿：助け合いのできる浅原にしていこう



【描いた人の思い】日々の隣家の付き合い（普段からのつながり）

【みんなの声】昔は味噌や醤油がないからと隣人に借りることもあったが、今はコンビニに買いに行けるという便利さが地域の繋がりを失わせた／集落ごとに避難場所をつくる／市民センターまで行けない人をサポートする／近所の人声かけすれば避難する／炊出しもする楽しい避難訓練／一軒家に暮らす人や車椅子の人を消防団がサポートできる臨機応変な対応／避難状況の素早い把握

テーマ4：健康・ウェルビーイング ≫ 呼びかけてみよう、ありがたい姿：100歳まで歩こう！！みんなで仲良くワイワイ

【描いた人の思い】心も体も健康

【みんなの声】健康の秘訣がある（早朝から松茸やタケノコ探し、犬との散歩、散歩で出会った人とあいさつ）／歩くことが健康のためになる／人と会って挨拶をかわすことや笑いながら楽しく歩くことが心の健康になる／市民センター主催の「歩いてみるかい」が楽しい、土日にも「歩いてみるかい」ができるといい、歩いた後に落語とかも見れたらいい／笑うことが大切



テーマ5：子ども・子育て ≫ 呼びかけてみよう、ありがたい姿：蛍やヤマメ、ウナギなどがたくさんいる川、川の復活



【描いた人の思い】子どもに伝えていきたい、綺麗な川（亀山神社から向井原橋まで）を復活させたい、川沿いでライ麦を育ててパン屋を開きたい

【みんなの声】とにかく川をなんとかしたい（せんといけん！）／川でヤマメやウナギをとった経験を子どもたちに伝えたい／カヤックを体験させたい／沿道に花（水仙）があったらいい／枇杷ヶ原には今も蛍がいる（昔は田んぼにもいた）／ギギの釜で泳いでいた／高校生からしてくれるあいさつや高校生と話す機会が嬉しい

テーマ6：インターネット ≫ 呼びかけてみよう、ありがたい姿：インターネットで豊かな浅原暮らし964

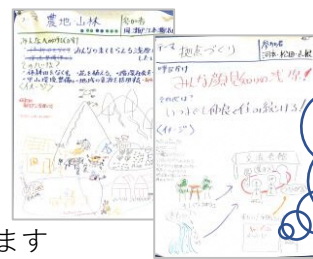
【描いた人の思い】良い物がたくさんあるのに浅原以外の人に知られていない（おいしい浅原）、人に優しい地球に優しいサイコーの村ASAHARA、インターネットを使いこなす、アプリやスマホが苦手な人は交流会館で教え合う（市民センターのスマホ教室を恥ずかしがらず受けてみよう）、野菜・防災・行事の情報発信に

【みんなの声】地元野菜をネットで販売（ポケットマルシェのような）／みんなが普段から守っている自然（他者から見るととても貴重）を散歩ついでにSNSに挙げたい／ICTで生活を豊かにしたい／スマホやネットをまず学びたい／アプリを作成してみたらいい／フリーマーケットをネットで始めたい



檜谷さんからの「意味づけ」インタビュー！

だんだんとビジョンができあがってきています。本日発表された内容でも、コミュニティ軽トラはすぐにでもできそうな取組だと思し、農地・山林をどのように10年後も管理していくかということは国も検討しているところです。普段からのつながりは、いざという時に生きますし、ただ歩くではなく意味を持ちながら歩くということも大事だと思いました。そして、川の周りで食資源も生まれ、川を通じて子どもが育つということもあり、インターネットも若い人にうまく関わってもらおうと進みやすいと思います。ここでハシゴを降りず、最後まで一緒に取組み、次回も人を誘って、みんなでできそうなことを確認しましょう。



描いたイラストは交流会館に掲示していますのでぜひチェックしてくださいね



最後はみんなで集合写真！

